

環境とコストを真剣に考えて 生まれた業界初「再生めっき」

再生めっきとは

一から製品を製作してめっきするのではなく、一度利用した製品の亜鉛被膜を除去(剥離)して再度めっきを施す再度めっき(以下、再生めっき)する技術があります。

従来は、剥離工程で産業廃棄物の発生(環境面)・コスト面で課題があり、作業性の観点からも大規模に再生めっきを行うことは難しい状況でした。

そのため当社は環境・コスト面の課題を解決するため2016年度愛知県の補助事業として基礎研究、2018年度に愛知県の補助事業として設備導入を行う事で大規模に実施する事が可能となりました。



before



after

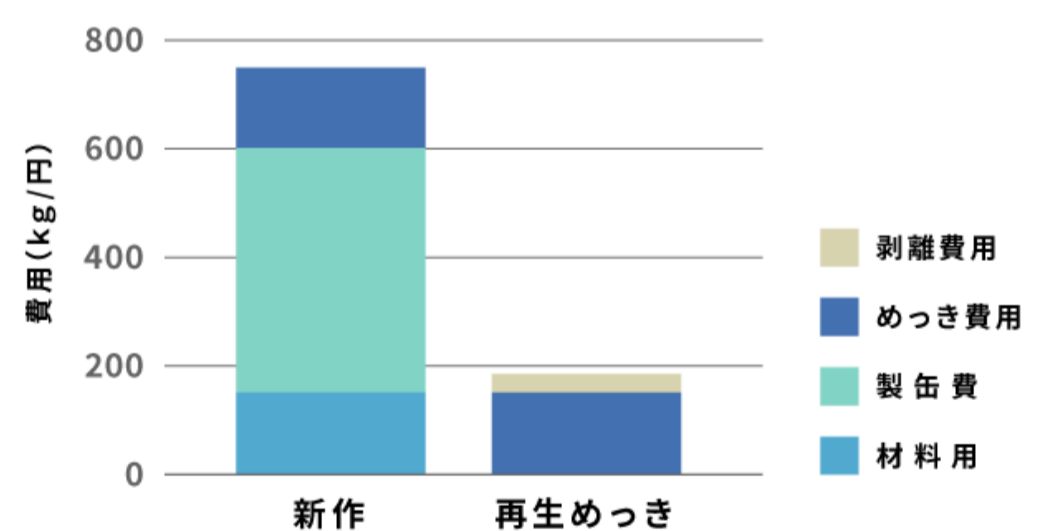
コストカット

通常、製品を1から作る(以下、新作)場合は、①鉄製品製作+②溶融亜鉛めっき工程の2段階に分かれます。

再生めっきの場合(リユースの場合)、酸化した亜鉛を一度除去するため③亜鉛剥離の費用は別途必要となりますが図示した通り、①の費用は発生せず、コストメリットが大きくなります。

※このコスト比較には配送費は含まれておらず、一般的に①と②は別の会社で行うため配送が必要となります。再生めっきの場合、当社単独で実施できるため配送費用のコストを減らす効果も期待できます。

新作・再生めっきイメージ図



業界初「再生めっき」で環境課題に寄り添う

この独自のシステムは業界初の試みであり、2018年からの3年間、環境面・コスト面において優れた運用実績により2022年に愛知環境賞優秀賞を受賞するに至りました。

この実績に関しては2年に1度更新しているエコアクション21で一般公開されています。

再生めっき製品は
3R製品です。



愛知県庁サイト
(P3枚目)



エコアクション21

